

令和8年9月18日
愛媛大学

縄文の記憶を、光と絵でひらく 「上黒岩岩陰遺跡プロジェクト 2026」を開催

愛媛大学次世代人材育成拠点と久万高原町教育委員会は、連携協力協定事業「上黒岩岩陰文化の里再発見プロジェクト」の一環として、「上黒岩岩陰遺跡プロジェクト 2026」を開催します。

今年で3年目となる本イベントでは、上黒岩岩陰遺跡が持つ歴史的・文化的意義を生かし、平和、女性活躍、ダイバーシティ、動物との共生の原点として再評価するとともに、教育と観光の場として継承・発展させることをめざします。

日本最古のアートとされる「女神石」と、日本初の埋葬犬という二つの独自性を、「アート」「女性活躍」「ペット」という現代的なテーマと結び付け、遺跡の魅力を光と絵で表現します。旧山中家住宅を一棟丸ごと照らす絵灯籠、上黒岩岩陰遺跡の「ART of LIGHT」、神社での絵灯籠などを展開します。

10月4日（日）のオープニングセレモニーでは、17時から子どもたちによる巫女舞、五神太鼓、絵の紹介、サックス奏者・庄子勝治氏の演奏を行い、絵灯籠の点灯と遺跡のライトアップへつなげます。約15,000年前の縄文人の営みに思いを馳せ、現代を生きるヒントを見つける機会を創出します。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

なお、取材の際は下記問い合わせ先に事前にご連絡ください。

記

開催期間 令和8年10月3日（土）～11日（日）

会場 旧山中家住宅、上黒岩岩陰遺跡、御三戸神社、三島神社拝殿

主催 久万高原町教育委員会・愛媛大学次世代人材育成拠点

共催 一般社団法人 ART JAPAN 和 SOCIETY

※送付枚数 5枚

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学次世代人材育成拠点

特定教授 小田 哲志

TEL：090-4975-0660

Mail：oda.tetsushi.yv@ehime-u.ac.jp

上黒岩岩陰遺跡発見65周年 国史跡指定55周年
久万高原町・愛媛大学連携協力協定事業
上黒岩岩陰遺跡「岩陰文化の里」再発見プロジェクト

上黒岩岩陰遺跡 プロジェクト 2026

縄文草創期の記憶を、光と絵でひらく。

＜第1会場＞

国指定重要文化財 旧山中家住宅



「一棟丸ごと絵灯籠」

10月3日(土)～11日(日) 18:00～20:00

日本の縄文草創期の遺跡を代表する上黒岩岩陰遺跡に隣接する国指定重要文化財「旧山中家住宅」を近隣地区の伝統行事の目にあわせて、旧山中家住宅1棟を丸ごと絵灯籠にいたします。

地元出身の日本画家伊東正次氏と美川地区小中学校の児童生徒さんによる「縄文」をモチーフとした障子絵の作品を制作しアートと文化財の融合という新しい形の芸術表現を行いました。どうぞご覧ください。

主催：久万高原町教育委員会・愛媛大学次世代人材育成拠点 | 共催：一般社団法人ART JAPAN和SOCIETY | 協賛：株式会社久万木材市場
後援：久万高原町観光協会・久万高原町商工会・NPO Core-KUMA・一般社団法人瀬戸を渡る風

＜第2会場＞ 国指定史跡 上黒岩岩陰遺跡

「ART of LIGHT」

日時：10月3日(土)～4日(日) 18:00～20:00

上黒岩岩陰遺跡（愛媛県久万高原町上黒岩1092）

縄文と現代をつなぐ光の芸術

「ART of LIGHT（アート・オブ・ライト）」は、縄文草創期の遺跡である上黒岩岩陰遺跡を舞台に、古代と現代を繋ぐ光のアートイベントです。

遺跡からは、約14500年前の石に線刻で描かれた十数個の女神像が発見されました。日本における絵を描いていた最古の実例になります。つまり、アートの表現は人々の生活に10000年以上も前から存在していたことを意味します。また、犬の骨が人骨のそばに丁寧に埋められている状態で発見されました。これは、犬がペットとして飼われていた日本最古の証だと言われています。

その遺跡跡を使って、現代の映像を投影し、ライトアップを行います。この映像作品は、地元出身の日本画家・伊東正次氏により制作されました。縄文時代と現代を繋ぐ光のアートイベント「ART of LIGHT」をお楽しみください。



＜第3会場＞

御三戸神社 「絵灯籠」

10月3日(土)～11日(日) 18:00～20:00

愛媛県久万高原町上黒岩に鎮座する御三戸神社は、明治4年の記録に「御三戸大明神（河内古宮）」として見える古社。山と野の二神、大己貴神・少名彦神の巡幸に関わる旧跡です。また訓見国造伊与主命が神籬を立て八神を奉斎した地と伝わっています。本宮と遥拝宮を備えましたが、町村合併後に遥拝宮へ奉斎を集約しました。



＜第4会場＞

三島神社拝殿（県指定文化財） 「絵灯籠」

10月3日(土)～11日(日) 18:00～20:00

久万高原町菅生に鎮座する三島神社は、久万小田郷の総鎮守として地域の信仰を集める神社です。地域の祭礼や奉納行事でも知られます。境内では五神太鼓の奉納が行われ、地元を受け継がれてきた歴史と結び付きの深さがうかがえます。



＜第1会場＞

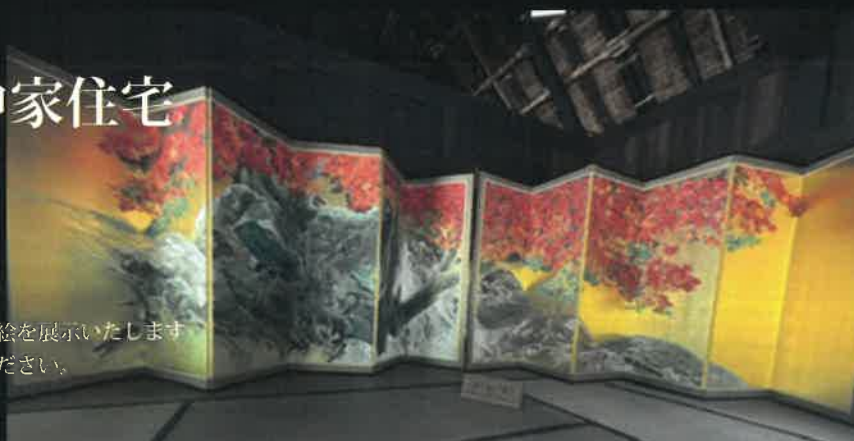
国指定重要文化財 旧山中家住宅

「屏風絵展示」

10月3日(土)～4日(日)

10:00～20:00

旧山中家住宅、屋外には絵灯籠、内部には屏風絵を展示いたします。
。日本建築な中で日本画の屏風絵をお楽しみください。



イベント情報

A 10月4日(日)

オープニングセレモニー

旧山中家住宅前

- 17:00頃 巫女舞 美川地区の子どもたちによる鈴神楽、
久万地区の子どもたちによる浦安の舞の披露
17:15頃 子ども五神太鼓 久万小学校・中学校のみなさんによる五神太鼓の披露
17:45頃 教育長あいさつ
絵の紹介(伊東正次氏&児童生徒)
18:15頃 庄子勝治演奏
広島を中心に世界で活躍するサクソプレイヤー-庄子勝治の
上黒岩遺跡をイメージしての音の世界
18:45頃 一棟丸ごと絵灯篭点灯



庄子勝治

上黒岩遺跡前

- 19:00頃 上黒岩遺跡ライトアップ



子ども五神太鼓

B 10月10日(土)

学芸員によるバックヤードツアー

スケジュール

作品の裏側を見るときに、民家の楽しみ方を食とともに実感する

Secretイベント

- 18:00頃 受付開始
18:30頃 開始(趣旨説明)+囲炉裏火付け、自己紹介
19:00頃 食事
20:30頃 終了



子ども巫女舞

参加料金 1000円(炊きもの代込み)+飲食(有料)
参加申し込み 10月9日まで tel 0892-56-0211

C 10月17日(土)・18日(日)

林業祭り

日本画家 伊東正次氏の縄文絵展示

愛媛大学教育学部学生による女神石クッキー(岡本教授・小田教授共同研究)の
販売・絵付け体験※同日、美川道の駅でも販売予定

上黒岩遺跡は、今から14500年前の縄文草創期から後期にわたる複合遺跡です。延々1万年近くにわたり人が住んでいたという点で、長崎県福井洞遺跡と並んで貴重な縄文時代の岩陰遺跡です。

昭和36年に久万高原町上黒岩ヤナセで発見された岩陰遺跡は、縄文時代草創期・早期の人類遺跡として一躍有名になりました。同地は国道33号線沿いの久万川の対岸、高さ30メートルの石灰岩が露出した岩陰にあります。発掘調査の結果、国指定の史跡となり、さらに昭和48年に愛媛県の「文化の里」に指定されました。出土品の数々はこれを収蔵展示する上黒岩遺跡考古館で、一般に公開されています。

石偶(女神石) 長い髪・大きな乳房・こしみの・かすかにわかる逆三角形を、鋭い石器などで小さい緑泥片岩に描いてある線刻像。これは信仰の対象であっただろうといわれており、日本での出土は上黒岩遺跡が初めてで、世界でも珍しく、日本人が描いた最初の女性像で貴重なものです。



岩陰遺跡内部



考古館外観



女神石



囲炉裏を開んで

アクセス・利用案内

住所: 愛媛県上浮穴郡久万高原町上黒岩
アクセス: 久万高原町役場より車で12分
連絡先:
【上黒岩考古館】 0892-56-0369
【上黒岩考古館以外の連絡先】 久万高原町教育委員会 0892-21-0139
営業時間: 10:00~17:00
【休館日】 毎週月曜日、12月1日~3月31日まで ※旧山中家住宅も同様(随時対応可)
URL
<http://www.kumakogen.jp/site/education/1666.html>

お問い合わせ先

久万高原町教育委員会美川支所
愛媛大学次世代人材育成拠点

遠部慎(0892-56-0211)
小田哲志(090-4975-0660)